

衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

【第201回国会】令和2年5月28日（木）、第3回の委員会が開かれました。

1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

・竹本内閣府副大臣（情報通信技術（IT）政策、知的財産戦略、科学技術政策及び宇宙政策担当）、平内閣府副大臣、宮下内閣府副大臣、若宮外務副大臣、亀岡文部科学副大臣、橋本厚生労働副大臣、青山文部科学大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長 三島良直君

（質疑者）石川昭政君（自民）、古屋範子君（公明）、大島敦君（立国社）、青柳陽一郎君（立国社）、篠原豪君（立国社）、早稲田夕季君（立国社）、畑野君枝君（共産）、串田誠一君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

石川昭政君（自民）

- （1） 科学研究費助成事業における新型コロナウイルス感染症関連研究への支援実績
- （2） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大学等における研究活動に対する政府の取組
- （3） 新型コロナウイルス感染症対策として導入を目指す感染者との接触確認アプリ
ア 同アプリの普及方策
イ 平内閣府副大臣の所見
- （4） 文部科学省科学技術・学術政策研究所が行う科学技術予測調査の次期科学技術基本計画への反映方針
- （5） 第5期科学技術基本計画のレビューの状況及び政府研究開発投資目標の達成状況
- （6） 研究開発成果の国内での商品化の促進及び公共調達において新たな技術の採用を増加させる方法

古屋範子君（公明）

新型コロナウイルス感染症対策

- ア 同感染症の科学的な解明についての竹本内閣府副大臣の決意
- イ 「コロナ制圧タスクフォース」の概要と目的及び今後の展開
- ウ 治療薬の開発状況並びにワクチンの開発及び実用化の見通しと資金面における支援状況
- エ 全国各地の重症呼吸・循環不全患者が心肺補助装置（ECMO）による治療を受けられるよう、高度医療施設へ航空搬送するための運用システム策定に向けた研究の必要性

大島敦君（立国社）

- （1） 量子技術
ア 産業安全保障上の観点から技術開発や国際標準化等の取組を強化する必要性についての竹本内閣府副大臣の見解
イ 量子技術関係予算の拡充に向けた竹本内閣府副大臣の決意
ウ 量子技術の研究者を増やす必要性
エ 量子技術を産業に結び付けるための仕組みを構築する必要性
- （2） 準天頂衛星システム「みちびき」
ア 利用拡大の加速に向けた竹本内閣府副大臣の所見
イ 「みちびき」を利用した国土交通省、経済産業省及び総務省の取組
- （3） 科学技術関係予算の拡充に向けた竹本内閣府副大臣の決意

青柳陽一郎君（立国社）

- (1) 健康医療政策の推進体制
 - ア 内閣府に移管する健康・医療戦略推進事務局長が内閣官房健康・医療戦略室の役職と兼務にならないことの確認
 - イ 同戦略室の海外事業部門を健康・医療戦略推進事務局に移管する必要性
 - ウ 同戦略室長の人事異動が行われなかった理由
 - エ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の理事長に就任した三島参考人の所信及びAMEDと同戦略室との関係再構築に向けた決意
 - オ 末松前AMED理事長からの引継の有無及びその内容
 - カ 同戦略室からAMEDへのハラスメントリストについての三島参考人の認識及び同リストに係る調査を行い、本委員会に調査結果を報告する必要性
- (2) AMEDにおける新型コロナウイルス感染症に係る取組
 - ア 検査キットの開発状況及び民間事業者により製品化されたキットを市場に普及させるための支援の必要性
 - イ 治療薬としてのイベルメクチンの実用化への支援に関する三島参考人の見解
- (3) 第6期科学技術基本計画を策定するに当たっての竹本国務大臣の問題意識

篠原豪君（立国社）

新型コロナウイルス感染症対策

- ア 新型コロナウイルスが動物からヒトに感染した原因
- イ 世界に先駆けて我が国が感染症予防の観点から自然破壊についての規制を行う必要性
- ウ 我が国における人権に配慮したビッグデータ等を用いた追跡技術の活用状況
- エ 市民の分断や差別を起こさないための厚生労働省の取組
- オ 感染症対策の一環として、憲法に緊急事態条項を設けることについての内閣府の見解
- カ 協同的な学び合いのための学校教育の再開に向けた文部科学省の基本的見解

早稲田夕希君（立国社）

- (1) 科学技術基本法の改正
 - ア 新たに大学や研究開発法人の責務規定を設けることとした理由及び研究所の予算増額についての竹本国務大臣の見解
 - イ デジタル化の遅れに対する反省を踏まえた今後の産業政策の進め方
- (2) 健康医療政策の推進体制
 - ア 内閣官房健康・医療戦略室及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の関係再構築に向けて、まずは経緯を詳らかにすべきとの意見に対する三島参考人及び同戦略室の見解
 - イ 同戦略室長の人事が不適切であると竹本国務大臣が安倍内閣総理大臣に進言する必要性
- (3) AMEDにおける新型コロナウイルス感染症に係る取組
 - ア AMEDの予算におけるワクチン開発及び創薬支援に係る採択課題
 - イ 令和元年度末時点における健康・医療戦略参与の氏名
 - ウ 企業主導型の課題に採択された企業の関係者に健康・医療戦略参与が含まれているか否かの確認
 - エ 企業主導型の課題に採択された企業であるアンジェスとの契約の予算額
 - オ 報道されているアンジェスについての各種の疑惑及び研究開発の公正性についての三島参考人の見解

畑野君枝君（共産）

- (1) 新型コロナウイルスの影響で困窮する大学生への支援策として第2次補正予算案に計上した額
- (2) 「国立大学法人の戦略的経営実現に向けた検討会議」における授業料自由化の検討
 - ア 同会議で検討される「授業料の自由化」の内容
 - イ 検討会議の合意事項のうち運用改善等で実施できるものは直ちに行う意思の有無
 - ウ 検討会議の検討事項から授業料の自由化を削除する必要性
- (3) 科学技術基本法
 - ア 法第2条第2項が設けられた理由
 - イ 同法における基礎研究の位置付けに照らした日本の基礎研究を取り巻く状況への評価
 - ウ 日本の研究力が低下している理由についての竹本国土大臣の見解
- (4) 国立天文台水沢V L B I（超長基線電波干渉計）観測所（岩手県奥州市）の今年度予算が削減された理由
- (5) 創発的研究支援事業が今年度予算で新設された趣旨
- (6) 新型コロナウイルスの影響で大学院生が困窮している原因並びに特別研究員事業の支援対象人数及び同事業の抜本的強化の必要性についての竹本国土大臣の見解

串田誠一君（維新）

- (1) i P S細胞ストック事業予算
 - ア 竹本国土大臣が同事業予算の削減に関する山中京都大学教授の懸念を認識した時期
 - イ 当初10年間計上していた同事業の予算をゼロベースにするという報道の真偽
 - ウ 内閣官房健康・医療戦略室と医療現場との恒常的な対立関係の有無
 - エ 世界的に評価されている研究者に対しては研究予算の使途を任せるべきとの意見についての竹本国土大臣の見解
- (2) 経済の立て直しのために有望視している科学技術についての竹本国土大臣の見解
- (3) 犬の嗅覚を利用したがんや新型コロナウイルスの探知のような、人間が到達できない能力の応用を研究している機関

2 科学技術基本法等の一部を改正する法律案（内閣提出第47号）

- ・竹本国土大臣（科学技術政策担当）から提案理由の説明を聴取しました。